

2022 年度第 1 回支部集会【九州・沖縄支部】開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

共催：筑紫女学園大学

開催日：2022 年 7 月 2 日(土) 10:00-17:00

会場：筑紫女学園大学

参加者：64 名（会員 39 名・一般 25 名）

2022 年度第 1 回支部集会【九州・沖縄支部】を 7 月 2 日（土）に筑紫女学園大学（福岡県太宰府市）にて開催しました。九州・沖縄支部集会の対面開催は 2019 年度の沖縄以来で、実に 3 年ぶりでした。講演、口頭発表、交流ひろばの 3 部構成で実施しました。

講演は「内容言語統合型学習（CLIL）教育実践入門—日本語で PEACE』に基づいて—」という題目で、奥野由紀子氏（東京都立大学）にお話しいただきました。初めて CLIL に触れる方にもわかりやすく、基本的な理論の解説から始まり、実践例や CLIL の受講者の変化もお話しいただきました。参加者同士の話し合いや奥野先生への質問の時間も設け、対面開催を活かしたやりとりが行われました。続いて、研究発表（口頭発表）がありました。口頭発表は 3 件で池田隆介氏（北九州市立大学）・山路奈保子氏（九州工業大学）による「学部留学生を対象とする日本語ライティング関連科目シラバスの特徴」、水戸貴久氏（別府溝部学園短期大学）による「大学生の日本語教師イメージビジュアル・ナラティブによるフォークイメーজの探求—」、小山悟氏（九州大学）による「知識構成型ジグソー法を用いた CBI の実践報告—「日本の国民食」をテーマとして—」でした。次の交流ひろばでは 3 件の出展がありました。3 つの教室にわかれ、大学間の交流プログラム、日本語教員養成、日本語教育関係者のための防災研修など多彩なテーマでの出展で、活発な交流と情報交換の時間となりました。

実施後のアンケートでは、全体の感想として「地域の皆さんがご挨拶され、近況をお話しされている様子が温かく、対面の良さを感じました」など対面開催の良さに関するコメントが多く見られました。

本支部集会は、幸い新型コロナウイルスの状況が落ちついている時期の開催となりました。感染対策を徹底しながらではありましたが、参加者の交流の場、または再会を喜ぶ場となっていることに本集会の開催意義を共有することができました。

この場を借りて、本集会にご参加くださった皆様、そしてご協力くださった関係者の皆様に心より感謝いたします。

（報告者 支部活動委員：鷹野恵，新城直樹，橋本直幸）



←3 年ぶりに対面開催で実施しました ↓講演のようす

